一人一人を大切にする学校

船橋法典高等学校

実感、学ぶ喜び！

平成 18 年度より自己啓発指導に重点を置く特色ある学校として、「厳しく・優しく・美しく」「生徒一人一人を大切に、きめ細かく丁寧に」を揚げ教育活動に取り組んでいます。さらに次のステージに進むべく、SNE モデル校、社会奉仕活動推進校等の取組の中で、学習の基礎・基本を大切に生徒一人一人の夢の実現のために、職員一丸となり更に充実した教育活動を行っています。
そして創立 30 周年を経て本校は、新たなステージへ向けて邁進しています。
本校のスローガンである**「一人一人を大切にする学校」**としての取り組みを紹介します。

Ⅰ．一人一人に目が行き届く、丁寧な指導 ＝ ユニバーサルデザイン教育 ＋ チームティーチング ＋ 少人数授業

➢ユニバーサルデザインによる教育

- 発問の仕方、板書の工夫、プリントの構造化など、「分かる授業」を展開しています。
- 誰にでも分かりやすく、安心して過ごせる教育環境をつくるため、教室掲示も工夫します。
- 入学したすべての生徒への指導・支援を学校組織として行います。

➢少人数教育

- 全ての授業を多クラス展開により少人数で行います。
- 分からないことを気軽に質問できる環境で、基礎学力の充実を図ります。
- 充実した教育相談体制により、様々な問題を早期発見、早期解決を目指します。

➢チームティーチング

- 体育・情報・英語の授業等でチームティーチングを実施します。
- 学習の中でつまずきのある生徒にすぐに対応ができ、自由度が高く、効果的な学習ができます。

生徒の感想：『少人数で質問し易いので、授業が分かりやすいです。』『勉強が分かるようになりました。』

➢規範意識等の醸成

- 厳しい生活指導で規範意識を醸成します。
- 学年室体制で生徒をしっかりとサポートします。
- 毎日、全員で清掃を行い、きれいな学習環境を整えます。

Ⅱ．夢の実現のための、適切な指導 ＝ 朝自習と基礎定着 ＋ 進路指導キャリア教育 ＋ 検定試験学習サポート

➢朝自習

- 朝自習をすることにより、１校時からの授業に集中できます。
- 春と秋の読書週間で、読書の楽しさを実感します。
- 中学校までの学習内容を確認し、基礎学力の定着を図ります。
- つまずきのある生徒は、補習で徹底してサポートします。
- 奥の細道、百人一首、美しい日本語、一般常識、各種検定等の幅広い教養を身につけます。

生徒の感想:『もっと本を読みたいと思いました。』『本を読んで気持ちがスッと落ち着きました。』

➢進路指導

- １、２年生では分野別に上級学校へのバス見学を実施します。
- 多様な進路希望に対して、分野別の進路説明会を実施します。
- 長期休業等を利用して、インターンシップを実施します。
- 面接の受け方の指導や小論文指導、敬語の使い方の指導等、丁寧に指導します。
- 講演会の実施や生徒一人一人に対するキャリアカウンセリングで、きめ細やかなキャリア教育を推進します。

➢検定試験と学習サポート

- 漢字検定・数学検定・英語検定・語彙読解力検定など、進路実現を踏まえた学習ができます。
- 放課後や長期休業中の英語検定、数学検定講座でさらに実力をアップします。
- 定期考査に向けた補習授業で基礎学力のアップと定着を図ります。
- 試験の好成績や検定試験の合格の喜びが自信につながり、自己啓発につながります。

Ⅲ．豊かな心を育む、充実した体験活動 ＝ 農業体験交流体験 ＋ 社会奉仕ボランティア ＋ 地域学習地域交流

➢校外学習

- １年生は、１学期に房総へ行き田植え体験。秋には「収穫祭」。収穫したお米で飯盒炊爨をして美味しくお米を頂きました。お米をテーマにした学習をします。
- ２年生は、１学期に富士山の世界遺産登録を目指し、環境問題を考えて山麓での清掃活動をしました。秋には修学旅行。沖縄での平和学習や民泊体験、マリン体験等沖縄の今と昔について学びました。民家さんとの別れは感動的で、忘れられない思い出をつくることができました。
- ３年生は、１学期にお台場班別研修。秋には横浜でウォークラリーをしながら地域発見学習をしています。

➢地域とのふれあい交流

- ２年生全員が家庭科の授業で保育の重要性を理解するために、市川市の柏井保育園で「幼児とのふれあい体験学習」を行いました。当日は、自分のペアの子ども（４歳から５歳の園児３２名）に準備した絵本の読み聞かせを行ったり、手作りのおもちゃを一緒に完成させたり、駆けっこやお絵かき等、笑顔で元気一杯に遊びました。また、園児達を本校体育祭に招待し、自分が担当した子どもと風船を使った競技に参加し、交流を深めました。
- 近隣の親子に来校していただき、インタビュー形式での生徒との交流、育児の疑似体験を行いました。子どもだけでなく親や子育てに対する理解を深めるよい機会となりました。

生徒の感想：『とても良い経験になりました。私もこうして大切に育てくれたと思うと、親に対して感謝の気持ちでいっぱいになりました。』『最後に、「寂しい、帰りたくないよ」といって、ギュッとしてくれたときには、すごく感動しました。』

Ⅳ．生徒会活動、部活動の活性化 ＝ 生徒会活動活性化 ＋ 部活動活性化 ＋ 自己啓発と自己表現検査

➢生徒会活動

- 生徒会を中心に年２回募金活動を行っています。今年も東日本大震災義援金活動を行いました。
- 生徒会を中心に県立船橋特別支援学校の高等部との交流活動を行います。一緒にレクレーションを行い、親睦を深めます。
- 各学年の美化委員を中心に通学路の清掃活動を学期末に行います。地域の皆さんからの評判も良くなっています。小さなゴミも見逃さずに拾いました。
- 文化祭（緑城祭）では各団体の発表の完成度が高く、年々盛大になっています。今年度は外部からの見学者が大幅に増えました。
- 図書委員を中心に読書の励行や新刊紹介を定期的に行っています。

学校説明会での感想：『活気のある部活動なので僕も入りたくなりました。』『全国大会いってて凄い。』

➢部活動

- 定期試験の前には各部活動で勉強会を行い、部活動だけでなく文武両道、どちらにも頑張れるよう一人一人を大切にきめ細やかな指導をしています。
- 部活動の生徒中心に、地元警察と連携して「マナーアップ隊」を結成。登校時に交通マナー指導のボランティア活動を行っています。
- 前期選抜で自己表現検査を導入して３年が経ちました。数年前まで、部員不足だった部活動も、今は活気を取り戻し熱心に練習しています。
- 実技検査又はスピーチ検査のどちらかで受検できます。
- 今年度は陸上競技部から３名の全国大会出場者を出し、関東大会へは４年連続出場しました。他にも野球部、卓球部、バレーボール部、テニス部、吹奏楽部が県大会に出場しました。